

会議録署名議員には、9番、田原 実議員、19番、高澤 公議員を指名いたします。

## 日程第2. 一般質問

○議長（五十嵐健一郎君）

日程第2、一般質問を行います。

15日に引き続き、通告順に発言を許します。

東野恭行議員。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（五十嵐健一郎君）

東野議員。〔2番 東野恭行君登壇〕

○2番（東野恭行君）

おはようございます。清政クラブの東野恭行でございます。

通告書に基づき、1回目の質問をさせていただきます。

1、糸魚川市駅北復興まちづくり計画の方針と将来像について。

昨年の8月に、糸魚川市駅北復興まちづくり計画が策定され、およそ10カ月が経過いたしました。この計画は、糸魚川市における官民連携の実績と、たゆまない相互の関係を育むための大切な計画であると考えます。今後、直面する人口減少問題や地域経済の衰退などの諸課題を解決していくに当たり、糸魚川市全体の発展に大いに関連していく事業であり、その成果が問われると考えます。

大火の発災からこれまでに、経済団体や地域との対話を繰り返し練り上げられた計画は、平成33年3月までを予定とする復興整備期の間でも進化し続けるものであるべきと考えますし、1人でも多くの主体となるプレイヤーが育つことで、20年、30年継続可能なまちを形成することができるのだと確信しております。

現段階で、糸魚川市駅北復興まちづくり計画の進捗と成果、今後の取り組みと、地域とのかかわりについてお伺いします。

- (1) まちづくり情報センターのスタッフの活躍と役割が、今後、期待されますが、今後の方針についてお伺いします。
- (2) 今後の復興駅北まちづくりに寄与するであろう経済団体や地域とのかかわり、将来像についてお伺いします。
- (3) 糸魚川市駅北復興まちづくり計画の対象地域17ヘクタール内に点在する空き家、空き店舗の利活用の状況と「いえかつ糸魚川」との今後のかかわりについてお伺いします。
- (4) にぎわい創出広場の今後の展開と、活用の方針についてお伺いします。
- (5) 防災とにぎわいの拠点整備の、今後の展開と方針についてお伺いします。

2、糸魚川市に点在する体育施設の老朽化と更新時期について。

我が糸魚川市においても、多くの体育施設が点在します。中には、老朽化が進み、早期の改修工事が必要な施設も見受けられます。

そういった体育施設の洗い出しや改修工事にあわせ、体育施設を利用する子供たちの意欲向上に

つながる改修工事や計画が必要であると考えます。年間を通して有効活用されている体育施設の検証と発展、逆に体育施設としての役割を、設置当初の定義づけによって、今現在、有効に活用されていないもの、その検証と洗い出しも必要と感じています。

他市における専門性の高い体育施設は、更新が間近で老朽化が進んでいても、他市からも名所として認知され、市内外に有効に利用されております。今後は、必要最低限の改修工事をする体育施設と、利用をする方々への意見聴取を踏まえ、子供たちの意欲向上につながる体育施設の更新が望ましいと考えます。

(1) 糸魚川市民総合体育館の更新時期と将来の発展性についてお伺いします。

(2) 糸魚川市に点在する体育施設の、直近の改修工事時期をお伺いします。

(3) 多目的と称する体育施設の利活用についてお伺いします。

(4) 糸魚川市において、他市からも認知度が高く有効活用されていると考える体育施設はあるかお伺いします。

以上で、1回目の質問を終わります。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（五十嵐健一郎君）

米田市長。〔市長 米田 徹君登壇〕

○市長（米田 徹君）

おはようございます。

東野議員のご質問にお答えいたします。

1番目の1点目につきましては、今後は、被災地区が行う地域づくり活動の支援を行いながら、まちづくりの中心的な役割を担っていただきたいと考えております。

2点目につきましては、それぞれの団体等が果たすべく責任と役割を分担した上で、主体的に取り組むことが重要であり、市としては、それらの取り組みをサポートしてまいります。

3点目につきましては、復興まちづくり計画のエリア内において、空き店舗等を活用した創業は、現時点で、新規4件、仮設17件のほか、今後、3件が予定されております。

空き家・空き店舗の利活用は、にぎわい創出のための人材育成の場、雇用の創出の場として、空き家・空き店舗の所有者、商工会議所、空き家活用ネットワーク糸魚川など、関係者と協力・連携して取り組んでまいります。

4点目につきましては、若者等の意見を踏まえ、屋根やオープンスペース、キッチン等を配置することで、イベントだけでなく、起業や創業にチャレンジする場として活用することともに、まちづくりを担う人材を発掘・育成していきたいと考えております。

5点目につきましては、にぎわいのあるまちづくりにとって必要なものを、市民や関係団体からご意見を伺いながら、検討してまいります。

2番目のご質問につきましては、この後、教育長から答弁いたしますので、よろしく願いいたします。

以上、ご質問にお答えいたしました。再度のご質問によりましては、所管の部・課長からの答弁もありますのでよろしくお願いいたします。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（五十嵐健一郎君）

田原教育長。〔教育長 田原秀夫君登壇〕

○教育長（田原秀夫君）

おはようございます。

東野議員の2番目の質問にお答えいたします。

1点目につきましては、市民総合体育館は、建設から35年経過していることから、今年度、改修に向けた設計を予定しており、既存施設の利便性を向上させたいと考えております。

2点目につきましては、昨年度から実施していた美山球場の改修が、先月、終了し、今年度は5月から美山陸上競技場の改修を行っております。31年度以降は、テニスコートの改修を予定をしております。

3点目につきましては、名称にかかわらず、市内の体育施設は各種競技や地域の行事などに使用されており、今後も多目的の利用ができるよう、施設の有効活用を図ってまいりたいと考えております。

4点目につきましては、美山公園内の美山球場やグラウンドゴルフ場などの各スポーツ施設と、能生体育館などが考えられます。

以上でございます。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（五十嵐健一郎君）

東野議員。

○2番（東野恭行君）

ありがとうございました。

ちょっと順番変えまして、2番の糸魚川市に点在する体育施設の老朽について、先にこちらのほうから質問させていただきたいと思っております。

(1)の糸魚川市総合体育館の件なんですが、こちらにおかれましては、年間を通して、大変、利用度の高い体育施設と認識しております。今後、計画される更新については、期待が高まるものと感じておりますし、この計画を進行していくに当たり、利用者に対して細かい意見聴取をどのように行うのか、また、糸魚川市体育協会加盟団体との連絡調整は、どのように行っていくのか、お聞かせいただきたいと思っております。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（五十嵐健一郎君）

小島生涯学習課長。〔教育委員会生涯学習課長 小島治夫君登壇〕

○教育委員会生涯学習課長（小島治夫君）

おはようございます。お答えいたします。

総合体育館の設計につきましての意見聴取につきましては、体育協会等を通じながら、内容の検討を進めていきたいというふうに、今現在、考えておるところでございます。

以上です。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（五十嵐健一郎君）

東野議員。

○2番（東野恭行君）

この意見聴取なんですけど、かなり詳細に意見のほうを聞かないと、つくってしまったのは、ここ、こうしてもらいたかった、ああしてもらいたかったっていうことのないように、細かく細部にわたって、ちょっと意見聴取していただきたいなというのがあります。

というのは、またこの計画の説明会っていうのが、後々、開催されると思うんですが、また大勢集まったところで意見出してくださいっていうスタイルですと、なかなか意見も出しにくい状況があるかと思えますし、また事前に、その計画を発表する場所に臨む前に細かい聴取をして、それを集約して、こんな計画でつくるんですっていう、そういう方向が一番ベストかなというふうに思うんですけども、やはり細かい要望に応じてこそ、いいものができていくと考えますが、いかがでしょうか。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（五十嵐健一郎君）

小島生涯学習課長。〔教育委員会生涯学習課長 小島治夫君登壇〕

○教育委員会生涯学習課長（小島治夫君）

お答えします。

細部の内容を聞くのが一番かと思いますが、現状では各団体の利用者様から、常日ごろ、要望等聞いてる内容を中心に、当初案をつくるような格好で進めてまいりたいというふうに考えてます。その途中経過の中で、体育協会あるいは定期に使ってる利用団体の方々から意見を聞く中で、詰めていきたいなというふうに、現状では考えておるところでございます。

以上です。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（五十嵐健一郎君）

東野議員。

○2番（東野恭行君）

ありがとうございます。

その計画の説明会におきましても、皆さんの意見が出しやすいような環境を、ちょっと心がけていただいて、臨んでいただきたいなというふうに思いますし、本当に自分の意見生かされたっていうことで参加する、利用していただく利用者にも喜んでいただけたらと思いますので、よろしく願いしたいと思います。

続きまして、糸魚川に点在する体育施設の直近の工事時期についてでございますが、先般、笠原議員の一般質問の中にもございました学校施設の更新と同じ考え方でございますが、美山球場にばかり、同じ投資をするのであれば、時に発展性のある更新であってほしいと願っております。

ただ、修繕で済まされる場所は守りの公共事業ということで、利用頻度や公共性の高さを踏まえ、他地域からの利用者が見込める施設に関しては、多くの目に触れることを踏まえ攻めの公共事業を展開していただきたいと考えております。

行く行く人口減少の波が押し寄せたとき、活用され続けられる施設も絞られていくと考えております。今後、利用していただくことで、今まで以上の、今までなかったそういった満足を得られる

ような、市民のための公共事業の更新をお願いしたいと考えておりますが、いかがでしょうか。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（五十嵐健一郎君）

小島生涯学習課長。〔教育委員会生涯学習課長 小島治夫君登壇〕

○教育委員会生涯学習課長（小島治夫君）

体育施設につきましては、屋内施設・屋外施設等、市の中でたくさんございます。現在、糸魚川市総合管理指針の中で、方向性を検討しておるところでございます。その利用頻度や地域性を考慮する中で、改修計画等を定めて進めていきたいというふうに考えておるところでございます。

以上です。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（五十嵐健一郎君）

東野議員。

○2番（東野恭行君）

ありがとうございます。

本当に多くの体育施設、点在しておりますが、行く行く、繰り返しになりますが、人口減少で、使わなくなっていくものっていうのがどんどん出てくるかと思っておりますので、更新に関しては、慎重を来していただきたいなというふうに考えておりますし、意味のある更新を進めていただければというふうに考えております。

（3）の多目的と称する体育施設の利活用についてでございますが、先般、美山の管理棟付近に、平成元年9月に施工された美山多目的グラウンドがございますが、少年野球場として専門性を高め、専門の少年野球場としての登録を望む声がありますが。実際、そちらに至ってない、至らない根本的な理由をお聞かせいただきたいのですが、お願いいたします。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（五十嵐健一郎君）

小島生涯学習課長。〔教育委員会生涯学習課長 小島治夫君登壇〕

○教育委員会生涯学習課長（小島治夫君）

お答えいたします。

多目的グラウンドの少年野球場への転換といえますか、につきましては、野球振興連絡協議会様から要望をいただいているところでございます。

ただ、糸魚川市多目的グラウンドにおきましては、隣接する市道が直近にあること等、危険性がまだ解消されていないことなどから、現在、少年野球場としての特化をすることの方向性は至っていないということが言えるかと考えております。

以上です。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（五十嵐健一郎君）

東野議員。

○2番（東野恭行君）

ありがとうございます。

なかなか難しいという解釈を受けたんですけども、解釈をしたんですけども、あの球場も、子供たちに親しまれている大切な施設だと思いますし、その更新、今後も更新していくと思うんですが、子供たちにとって必要であり続ける施設であってほしいと思いますし、また、地域のニーズに沿った要望に応じていただければと思っております。よろしく願いいたします。

(4)でございますが、糸魚川市において、他市からも認知度が高く、有効活用されていると考える体育施設についてでございますが、今後、糸魚川市の総合体育館が、設置場所も含め柔軟に検討していただきたい、そのように思っております。子供たちの意欲向上につながる、市外からの来訪者にとっても親しまれる施設の設営を、強く要望いたします。よろしく願いいたします。

戻りまして、1番の糸魚川市駅北復興まちづくり計画の方針と将来像について、再度、質問させていただきます。

(1)についてでございますが、現在、まちづくり情報センターのスタッフにおかれましては、地域の方々や若い世代の方々に溶け込み、さまざまな取り組みをしていただいております。いといがわ復興情報紙ホープについても、2017年12月20日のゼロ号から9号まで発刊されており、私も、大変楽しみにしております。毎号、情報センターのスタッフが足しげく、商店街に、その他に配布してくださることに、感謝を申し上げたいと思っております。

このように回数を重ね、わざわざ足を運んでいただくことで、町なかの人たちの人となり理解できてきていると思います。情報をお伝えすることももちろん大切ですが、直接会って、情報紙をお配りすることや雑談をすることが、町なかの人たちとの距離と関係性を深めていただきたいと、そのように思っております。これからも、ぜひ、継続していただきたいと思っております。

糸魚川の企業でも、人材育成に関し、積極的に投資されている企業が数多くございます。これからは、民間と交わり、まちづくりに携わる人材に計画性を持って、大いに人材育成として投資すべきと考えておりますが、いかがでしょうか。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（五十嵐健一郎君）

大嶋商工観光課長。〔商工観光課長 大嶋利幸君登壇〕

○商工観光課長（大嶋利幸君）

企業の人材育成につきましては、商工会議所、商工会で持っております経団連さんを通じまして、企業の人材育成に対して補助金を出し、経団連さんのほうとして主体的に人材育成をしていただいておりますが、また、こういう、何ていいますか、商店街なり中心商店街の関係者であっても受講できるような内容での人材育成の研修内容を、また、ご提案を申し上げていきたいと思っております。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（五十嵐健一郎君）

東野議員。

○2番（東野恭行君）

ちょっと、質問の趣旨が伝わりにくかったかもしれないんですけども、その人材育成っていうのは、情報センターのスタッフに関しての今後のことだったんですけども、やっぱり民間は民間で、自分たちの研さんために、さまざまな研修に参加させていただいてるところでございますが、やは

り情報センターの人材に関しましても、本当に能動的に動いていただいている背景もございまして、今後、本当、期待の寄せられる人材だと思いますので、その人材に対して投資といいますか、今後の見通しをどのように考えておられるか、いま一度、お聞かせいただきたいと思います。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（五十嵐健一郎君）

木村副市長。〔副市長 木村英雄君登壇〕

○副市長（木村英雄君）

お答え申し上げます。

ただいま、議員からご指摘いただきましたとおり、大変、先ほど市長から申し上げたとおり、情報センターのスタッフ、大変、我々としては期待しているところでございます。ぜひ、こういった期待しているスタッフたちが、本当に主体的に取り組めるような、我々が環境づくりをしっかりとやりながら、彼らが多く若者、あるいはすばらしい人材の吸引力を発揮していただけるような環境づくりに力を入れていきたいと思っております。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（五十嵐健一郎君）

東野議員。

○2番（東野恭行君）

ありがとうございます。

情報センターのスタッフとは、日常においても、まちづくりにおける打ち合わせや会議の場でも、必ずと言っていいほど顔を合わせます。そして、彼らは能動的に若い感性で活躍しております。まちらぼというグループもつくられたようですが、具体的な活動では、地域の若い世代を巻き込み、毎月1日にごみ拾い活動を行ったりして、交流を深めてくれています。そして、積極的に地域のイベントにもかかわっていただいております。

もちろん、ある程度の管理は必要ではあると考えますが、若い感性を潰してしまうことのないように、そして、頭を抑え込んでしまうことのないように、そのかわりきちんと重要な責任であるという認識を持っていただき、役割を担っていただきたいと思います。いかがでしょうか。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（五十嵐健一郎君）

斉藤復興推進課長。〔復興推進課長 斉藤喜代志君登壇〕

○復興推進課長（斉藤喜代志君）

おはようございます。

まさしく、議員おっしゃるとおり、若い人たちの感性で、いろんな活動をしていただいております。我々としては、そういった活動の芽を、できるだけ育てる方向でというふうに、彼らと、彼女らとおつき合いをしていきたい。そういった中では、私らやはり、後ろから見ながらいろんなアドバイスができることは、市で協力できることは協力するといったような形で、彼ら、彼女らの自主性に任せて、できるだけ自主性に任せた活動を、我々としてはバックアップするという姿勢でいきたい。その中で、行動を通じて彼ら、まちらぼが、また一段と育っていくというふうにしてきたいというふうに考えております。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（五十嵐健一郎君）

東野議員。

○2番（東野恭行君）

ありがとうございます。

この、やっぱり人材を育てていくってところで、私もまだまだなんですけども、育てていくってところで、なかなか一朝一夕ではできないことだと思っておりますし、根気の要ることだと思っております。彼らも、もう長い年月かけて、糸魚川のためについてという思いでやっておられるんで、そういう意味では、大切な税金を使っておるんですが、やはり少し温かい目で見守る部分も必要だと思っております。今後、本当に期待のされる若い皆さんでございますんで、また、時に厳しい指導もあるかと思いますが、先ほど申し上げましたとおり、一概に頭を押さえつけてしまうことのないような指導をいただければというふうに思っております。よろしくをお願いします。

（2）の今後の復興まちづくりに寄与するであろう経済団体と地域についてでございますが、再質問させていただきます。

現在、糸魚川商工会議所の中に、駅北のにぎわい創出特別委員会・会館移転検討委員会という組織がございますが、情報交換等、密な連携は、現在、図られているのでしょうか。これから、復興整備期に差しかかる中、現実的な実行計画が、そろそろ必要であると考えてるが、現状はいかがでございますでしょうか。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（五十嵐健一郎君）

大嶋商工観光課長。〔商工観光課長 大嶋利幸君登壇〕

○商工観光課長（大嶋利幸君）

商工会議所の皆さんとは、定期的に意見交換会を行っているところでございまして、必要によっては、市長、また会頭、副会頭と意見交換を行っております。事務レベルとしましては、最低月に1回は定期的に会っております、そのほか必要に応じて、情報交換をしておるところでございまして、それらの会館の移転の内容ですとか、町なかのにぎわいづくり等、多方面にわたって行っているところでございます。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（五十嵐健一郎君）

東野議員。

○2番（東野恭行君）

ありがとうございました。

じゃ、特に会議所の移転について、再度、質問させていただきたいと思います。

商工会議所は、地元企業の企業の繁栄のために、地域にとって大切な施設であると考えております。職員さんも、現在、14名と大変大勢な職員さんで構成されており、日々、大勢の来訪者があられる施設でございます。今後は、糸魚川商工会議所の職員の皆様と、商店街や情報センターのスタッフとさらなる連携も視野に入れる必要があると考えてますし、職場が、あの被災地にふえるということは、率直に定住人口を図るよい手段であると考えております。官民連携のまちづくりにおいて



も、コンパクトなまちづくりを推進するにしても、本町通り周辺への移転が必須であると考えております。

ただ、商工会議所は、会員各位から会費を集め運営をしている組織であることから、本来、利益を、収益を生み出す組織ではありません。会員各位の発展に寄与するための組織であり、市民をサポートする、市民のための、会員企業のための団体であると考えております。

今後の復興のまちづくりに関しては、過剰な設備投資がなかなかできないものと感じておりますが、商業の集積地に本来の機能を持ってくる、そして、新たに官民連携の新しい形をつくる、糸魚川市にとって、絶好の機会であると考えておりますが、いかがでしょうか。

行政と商工業者のお互いの責任で、20年から30年継続していくまちづくりのために、お互いの歩み寄りを期待しておりますが、いかがでしょうか。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（五十嵐健一郎君）

木村副市長。〔副市長 木村英雄君登壇〕

○副市長（木村英雄君）

お答え申し上げます。

議員ご指摘のとおり、商工会議所の皆さんの活躍というのは、大変、重要だと思っておりますし、特に、今後の復興まちづくり、にぎわいづくりにとっては、非常に重要なパートナーだと思っております。ぜひ、今後とも、常にともになって、車の両輪として取り組んでまいりたいと思っております。

移転については、これは会議所の皆さんのご意向にもありますので、ぜひ、我々としても一緒に、ご相談に乗りながら、今後、話を進めていきたいと思っております。

以上でございます。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（五十嵐健一郎君）

東野議員。

○2番（東野恭行君）

ありがとうございます。

なかなか現実問題、お金がかかってくる問題でございますし、どうやったら進めれるのかっていう、そういう可能的な思考で、可能志向で前に進めていただき、1つの可能性も無駄にしないように、密なコミュニケーションとりながら進んでいただければというふうに考えております。

続きましてですが、今後、サウンディング後の2次ヒアリングが、どのような方向性を示すのか注目を集めますが、あらゆる可能性を潰すことのないよう、繰り返しになりますが、商工会議所と情報交換を行っていただき、お互いが望む方向性をしっかり示唆していただき、お互いが聞いてないよというようなことがないように、お願いしたいと思います。

糸魚川市商店街の広域商店街の組織の中に、街なか女子部という組織がございますが、こちら、ソフト事業を中心に、今後、連携のほうを図られていくと思っておりますが、街なか女子部に寄せる具体的な期待っていうのをお聞かせいただきたいんですが、いかがでしょうか。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（五十嵐健一郎君）

大嶋商工観光課長。〔商工観光課長 大嶋利幸君登壇〕

○商工観光課長（大嶋利幸君）

街なか女子部の皆さんとは、この災害にかかわらず、意見交換等をさせていただいておるところでございます。当初の立ち上げからの目標にもありますように、女性からの視点で、お客さんをいかに商店街、町なかに呼び寄せるかっていうのを目的に設立されておりますので、また、ことしは、体験を生かした誘客ってということで検討されてるようでございますので、引き続き、女性の視点から、また、体験型の誘客っていう観点で、ぜひ、多くの方から中心商店街に、お客さんから来ていただけるように、取り組んでいただきたいというふうに期待をしております。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（五十嵐健一郎君）

東野議員。

○2番（東野恭行君）

ありがとうございます。

広域商店街におかれましても、被災する前、以前からもう本当に、街なか女子部におかれましては、本当に積極的に活躍していただいておりますし、安倍首相もおいでになられたときに、女子部の期待があらわれてたところでございますが、こちら、市と町なかと商店街と連携しながら、今後、進めていきたいというふうに考えておりますし、最大限の協力をいただければというふうに思っております。

続きまして、空き家・空き店舗の状況について、再質問させていただきたいと思っております。

昨年6月と3月の定例会でも、空き家・空き店舗の活用について、要望を挙げさせていただきましたが、白馬通りの共場コモンズを皮切りに、空き家を有効に活用したリノベーションのまちづくりを進めていただきたいと考えております。そして、大いにいえかつ糸魚川と連携を図りながら進めていただき、さらなる情報発信を行っていただきたい、そのように思います。

現在、糸魚川商工会議所からいただいた情報ですと、本年度4月から創業に関する相談が13件、継続中もしくは創業間近で、うち5件が中心市街地での開業を目指していると聞きます。

先ほど、ちょっとお伺いした内容と、ちょっと差異があるんですけども、ここも含めて確認したいと思っておりますが、交流人口をふやすには、そこに定住する、もしくはご商売していただける人口をふやさない限り、にぎわいの創出にはつながっていかないと考えます。もちろん、過剰な投資をせず、ある資源を有効に使うことが、今後のまちづくりにおいて注目を集めると思っております。

この、リノベーションのまちづくりを進めていく中で、行政としてどのように、そのリノベーションの価値をお伝えしていくのか。実際、本町通り商店街やその周辺においては、活用できそうな空き店舗は、実際少なく、個人が所有されている空き地に関しては、活用方法として、月決め駐車場の活用が目立っております。こういった状況の中で、さらなる創業者をふやしていく今後の工夫について、どのようにお考えか、お聞かせいただきたいと思っております。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（五十嵐健一郎君）

斉藤復興推進課長。〔復興推進課長 斉藤喜代志君登壇〕

○復興推進課長（斉藤喜代志君）

お答えします。

現在、中心地あたりにも、かなりの空き家・空き店舗があるというふうに感じております。そういったものについても、今までにはない新たな事業とかそういった形で、新しい形の価値をつけて、付加しながら改修して、そこを活用するというのがリノベーションということで理解しております。

そういった考え方、それらを広げていくということが、今後の中心地における、やはりにぎわいにも非常に重要だというふうに考えておりますし、こういった考えを、できるだけ多くの方に伝えながら、空き家や空き店舗の持ち主の方にもご理解いただいて、こういった活動、そういった事業を広げていくということも、今後、大事かと思っております。

そういったことを、今後、その事前の、要は周知といいますかそういったことを、フォーラムとかシンポジウムとかそういった形の中で広げながら、そういったことに取り組んでいただける人たちと進めていくというような仕組みを、つくっていききたいなというふうに考えております。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（五十嵐健一郎君）

東野議員。

○2番（東野恭行君）

ありがとうございます。

なかなか、リノベーションと一口に言っても、民間にはなじみのない、実際、もうやり始めてるそういう自治体もございますが、なかなか浸透していない言葉でありますし、何より、そういった盛り上がりがあってこそ、次につながっていくと思っておりますので、情報発信のほうをしっかりといただき、1人でも多くの方が、当事者意識持って参加できるような、そういった仕掛けづくりもしていただきたいなというふうに要望したいと思います。

続きまして、4番のにぎわい創出広場の今後の展開と活用の方針について、再度お伺いしたいと思います。

にぎわい創出広場に関しても、たび重なる議論がされてまいりました。いよいよ、整備に向けて動き出すと思っておりますが、復興整備期に差しかかるに当たり、今までにたくさんの要望が挙がってきたことと思っております。しかし、全要望を受けとめることは、なかなか難しいと考えますし、ある程度の取捨選択をすることで突破口を見つけなければ、いつまでも前進することができないと考えております。そして、20年、30年継続可能な場所として進化し続けることで、そんな中で、今までの要望を段階的にクリアしていく場所であってほしいと、そのようにも考えております。

その進化を踏まえ、今後のにぎわい創出広場の展開と、平成20年に東西のアメニティ軸として設置されたみいちゃん通りとのあわせた活用についてお考えか、お伺いしたいと思います。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（五十嵐健一郎君）

斉藤復興推進課長。〔復興推進課長 斉藤喜代志君登壇〕

○復興推進課長（斉藤喜代志君）

お答えします。

議員おっしゃるとおり、いろんなところでの要望等もお伺いしております。全部に、なかなか応

え切れるものではないなというのも、実際であります。

ただ、余り今段階では、そのもの自体を余りつくり込まないようにして、皆さんで使いながらつくっていくということも、コンセプトとしては大事にしていきたいなというふうにして、広場の整備を進めていきたいというふうにも考えております。

あわせて、みいちゃん通りが、すぐ南側にありますし、北側は、すぐ本町商店街ですっていう形で、やはり全体の通り、その周辺にある通りとか、そういったとことどういった、特に、みいちゃん通りについてはどういうふうなつながりを持って、にぎわいにつくれるかということも重要だと思います。

ただ、この部分についても、やはりそこでどういうふうな、活躍する方たちと考えていくかっていうことも大事だと思います。その辺は、これからもまだ、いろんな方々と意見をお伺いしながら、また、次のソフトの展開に向けて話をしていきたいなというふうに思っております。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（五十嵐健一郎君）

東野議員。

○2番（東野恭行君）

ありがとうございます。

この、みいちゃん通りに関しまして、やはり多額な投資、過去にされていると思いますし、決して無駄にしたくない、そういう場所であると考えております。

そういった中で、そのイベントの設営するときに、皆さんからよく聞かれることが、もういつそのことここを何とか、例えば土・日だけでも通行どめにできないかとかそういった要望も出ております。そういった考え方も、柔軟な考え方もありかと思っておりますし、エリアとしての価値を上げるってことであれば、そういった方法も検討していく余地があると思っておりますので、ぜひ、ご検討いただきたいと思っておりますし、何せ、民間の皆さんといろいろ意見交換をしながら、どういった形がベストであるかっていうところを議論していただきたいと思っております。

にぎわい広場の活用において、被災者、住民、商店街、会議所それぞれの、町なかに対するさまざまな要望が、今後、出ては蒸発、出ては蒸発してしまわないように、それをできるだけきちんと吸い上げて具現化し、それをコーディネートする組織が、今後、必要になってくると考えております。

将来的には、例えば法人化を目指すなどして、設置目的や役割を明確にする必要があると考えておりますが、いかがでしょうか。継続的に、その運営を続けていくことを踏まえると、そのような展望も必要であると考えております。いかがでしょうか。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（五十嵐健一郎君）

斉藤復興推進課長。〔復興推進課長 斉藤喜代志君登壇〕

○復興推進課長（斉藤喜代志君）

お答えします。

まさしく、今後のその活用について、やはりそういったコーディネート役の組織等っていうのは、非常に大切、重要ではないかなと、必要ではないかなと思っております。今、そういったまちらば

とかとの、若者とかとも、そういったあたりの話がどうだろうかということも一緒に話しながら、その方たちに、本当にお願ひできるかどうかはともかくとして、今後その、そこでの市民のいろいろな方々の活動を、中間的にまとめてコーディネートしていける組織、そういったところが広場を運営していくということを目指のスタイルとして、我々、計画・検討していきたいというふうに思っております。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（五十嵐健一郎君）

東野議員。

○2番（東野恭行君）

いろいろ、懇談会・ミーティング等を繰り返してきましたが、なかなか1つのものを形にするというのが難しいっていうのを、痛切に感じております。

そういった中で、しっかりその目的っていうところを定めて設置することで、その目的に沿った取り組みが、今後、できていくと思いますので、法人化っていうのは、ちょっと極端なお話しさせていただきましたが、やっぱりしっかり目的を定めるっていうことが、今後、大事になってきますし、あれもやりたい、これもやりたいっていうところを、なかなか実現していくのは、今後、冒頭にも申しあげました取捨選択の部分で、大事な部分だと思います。何より、何も形にならないっていうのが、やっぱり残念なことなんで、しっかりとその目的を明確にして設置していただきたい、これも要望になってしましますがお願いしたいと、取り組みについて前向きに要望したいと、検討していただきたいと思っております。

関連して、糸魚川らしいまちなみ再生プロジェクトについてお伺いします。

特定建築物地区整備計画の区域であります本町通り商店街、市道横町大町線であります、町並みの形成の部分で、雁木の間口に応じた整備補助金を交付するとありますが、現段階で、雁木建築が決定しているそのパーセンテージ、お聞かせください。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（五十嵐健一郎君）

大嶋商工観光課長。〔商工観光課長 大嶋利幸君登壇〕

○商工観光課長（大嶋利幸君）

きのうの一般質問での答弁でもお答えしましたけども、市の用地を含めまして、今、約8割について再建、または再建予定っていうことで、今、考えております。

また、この率を、今後また、地元の皆さん、通りの皆さんとお話しする中で、この率をなるべく高めていきたいというふうに考えております。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（五十嵐健一郎君）

東野議員。

○2番（東野恭行君）

ありがとうございます。

整備補助金で免責されない5%、残りの5%、10%、そういった問題もありますが、そちらは、市が用意したクラウドファンディングの活用等で利用する方法があるかと思ひます。あとは、誰が

やるのかっていうとこなんですけども、こちらがなかなか進まないところではありますが、将来的に、その雁木の再生を遂げたときに、20年先、30年先の維持費について詳しい試算をされたか、お伺いしたいと思います。

し〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（五十嵐健一郎君）

大嶋商工観光課長。〔商工観光課長 大嶋利幸君登壇〕

○商工観光課長（大嶋利幸君）

今後の更新時期に向けて、詳しい試算までは、まだしてないんですが、保険を掛けていくとか、今後、商店街なり商工会議所を通じまして、その今後のことについても、きちんと定めてまいりたいというふうに考えております。検討してまいりたいというふうに考えております。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（五十嵐健一郎君）

東野議員。

○2番（東野恭行君）

その辺の、しっかりとした見通しが大切かと思えます。もちろんこの辺は、十分検討・議論されてると思いますが、当事者の方々に、再生して本当によかったねと言われる建設を目指していただきたいと思っております。町歩きが楽しくなる、本町通りの景観形成に寄与する大切な設備と考えておりますので、もうひと踏ん張り、じっくりと協議していただきたいと要望します。

最後の防災とにぎわいの拠点、今後の展開と方針について、1つ要望させていただきたいと思えます。

復興とは、再建から、もともとなかったものを新しく新たにつくり出すことであり、もとの状態よりも進化した状態をあらわす言葉であると考えております。その進化とは、見た目をあらわすものなのか、それとも人間の内面を示すものなのか、私は、復興にかかわる全ての人の内面が、今後の駅北のまちづくりに映し出されると考えております。

これからの米田市長の強いリーダーシップとバランスのとれた采配を振るっていただき、駅北のまちづくりに投影していただきたい、そのように考えております。いかがでしょうか。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（五十嵐健一郎君）

米田市長。〔市長 米田 徹君登壇〕

○市長（米田 徹君）

お答えいたします。

議員ご指摘のとおり、このにぎわいの拠点につきましては、この復興まちづくり計画をつくった時点、また、それ以前からも、やはり拠点というものは必要だろうということで、この第一に挙げて取り組んでまいったわけでありまして、また、そうは言っても、この今、復旧・復興を進める中において、随時、状況が変わってまいっております。にぎわい広場においても、当初なかったものでございましたり、また、なかなかここに住んでいただきたいと言いつつも、やはりいろんな関係で、出ていかれるような方々もおられて、いろんな状況が変わってまいっております。

そのようなことから、拠点についても、今、議員ご指摘のようなお考えの中から、やはりしっか

りとした将来につなげていく、また、にぎわいに将来の持続あるまちにしていかななくちゃいけない  
ということを考えてときに、やはり内面と外面とソフト・ハード、そういったものが、やはりしっ  
かりとしていかななくてはいけなんでしょうという考えで、今、捉えております。そういう中で、いま  
一度、もう一度、やはりその辺をしっかりしながら取り組んでいきたいなど。

そして、私は特に、皆様方をお願いをしておきたいと思うのは、この、誰がそれをしっかりと  
取り組んでいっていただけるのかという、やはりそこで活躍する、活動する人たちが、やはり明確  
になるようなものにしていきたいと考えておるわけでごさいます、それもあわせて、極端な言  
い方をすれば、ソフトをメインにしながらハードがあるべきではないかなと考えておる次第でごさ  
いますし、そして、糸魚川らしいまちにしていくな中で、取り組んでまいりたいと思っております。

そういったことで、私は、拠点については、そんな形で取り組んでいきたい、そして、皆さんに  
喜んでいただけるようなまちにしていきたいと思っておりますので、また、皆さんからのご理解・  
ご支援をいただきたいと思っております。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（五十嵐健一郎君）

東野議員。

○2番（東野恭行君）

米田市長、ありがとうございました。

以上で、私の一般質問を終わります。

○議長（五十嵐健一郎君）

以上で、東野議員の質問が終わりました。

関連質問なしと認めます。

暫時休憩します。

再開を11時5分といたします。

〈午前10時53分 休憩〉

〈午前11時05分 開議〉

○議長（五十嵐健一郎君）

休憩を解き会議を再開いたします。

次に、田中立一議員。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（五十嵐健一郎君）

田中議員。〔15番 田中立一君登壇〕

○15番（田中立一君）

市民ネット21、田中です。

発言通告に基づいて一般質問をさせていただきますけれども、その前に、本日朝8時ごろ、大阪  
で震度6弱の大きな地震がございました。被害に遭われた方には、心よりお見舞い申し上げますと